

# 福岡県筑前町立三輪中学2年男子生徒

## いじめ自殺についての調査嘆願

文部科学省 文部科学大臣 伊吹文明殿

平成18年10月11日、福岡県朝倉郡筑前町町立三輪中学校2年の男子生徒が、いじめを理由に自殺したとされる事件に於いて、平成18年12月12日に調査委員会による報告書が提出されましたが、調査委員会での調査では『いじめと関係があった』とのきわめて曖昧な文言が出されたのみであり、事件の真相を解明しようとするものとは到底思えません。

この事件の全容解明と適正な対処は、その後全国で連続しているいじめによる自殺を阻止する上でも必要なことだと思っております。文部科学省による厳正な調査をお願い致します。

- 1) 元担任がいじめのきっかけを作ったと報道されているが、新学期から半年も経過していることから現担任の説明がないのは不自然ではないか。現担任への調査も行い、元担任、校長も含めてその責任も追及するべきではないか。
- 2) いじめをしていた生徒への聞き取り調査と処罰が必要ではないか。また一部報道されているように、男子生徒が残した遺書（遺言）は、いじめた生徒達に書かされたものであると言われているが事実なのか、また、事実であれば然るべき処罰をするべきではないのか。
- 3) 元担任は別の生徒もいじめていた、また、事件後に同じ生徒によるいじめが発生しているとも報道されており、いじめが蔓延している事実があるのではないか。また、それを隠蔽しようとする体質が、学校、教育委員会、町、県にあるのではないか。
- 4) 自殺にまで繋がるような深刻ないじめが学校に存在するにも関わらず、適正な対処が行われていない現状は、全国でいじめられている子供たちの絶望感につながり、自殺の連鎖を生んでいるのではないか。

以上述べました点につきまして公平性を常に重視する人選にて調査委員会を再組織し、厳正なる調査の上、適切な対処をして下さいます様何卒宜しくお願い申し上げます。

日付 平成 年 月 日

名前 \_\_\_\_\_ 印

住所 \_\_\_\_\_

※住所は都道府県名から